

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 379

2022年11月1日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp

憲法9条を守り生かすみやぎのつどい2022

「メディアの現場から見る戦争と平和・憲法(仮題)」

3年ぶりのサンプラザでのつどいです。みんなで参加しましょう。7月の参議院選挙の結果、改憲を目指す4党が衆参両院で3分の2の議席を確保することになりました。岸田首相は、選挙結果を受けて銃撃され死去した安倍晋三元首相の改憲の「思いを受け継ぐ」として「できる限り早く発議に至る取り組みを進める」と述べています。

日時：11月3日(木・祝) 13:00~15:00

会場：仙台サンプラザホール

講演：金平茂紀さん(ジャーナリスト)

対談：講演終了後、池田香代子(ドイツ文学翻訳家・九条の会世話人)と金平さんの対談をします。

入場：無料、どなたでも参加できます。

主催：みやぎ憲法九条の会

協賛：宮城県内九条の会連絡会

お問い合わせ：みやぎ憲法九条の会 022-728-8812 E-mail: info@9jou.jp

The poster features a large orange number '9' in the center. At the top, it says 'メディアの現場から見る戦争と平和・憲法(仮題)' (Media from the frontlines: War and Peace, Constitution (tentative title)). Below that, it lists the speaker: '講演 ジャーナリスト TBSキャスター 金平茂紀さん' (Lecture by Journalist, TBS Caster, Mr. Shigeaki Kanbe). At the bottom left, it says '対談 池田香代子さん' (Dialogue with Ms. Kaeko Ikeda) and identifies her as a German literature translator and a volunteer for the Miyagi Article 9 Association. The event details are: '2022 11/3 木・祝 入場無料' (2022 11/3 Thu・Holiday Free admission), '仙台サンプラザ 大ホール' (Sendai Sun Plaza Grand Hall), '12:00 (開場)' (12:00 Opening), 'オープニング (12:40~): みやぎのうたごえのみなさん' (Opening (12:40~): Mina's Miyagi Song), '13:00 (講演)' (13:00 Lecture). It also lists the organizer '主催/みやぎ憲法九条の会' (Organized by Miyagi Article 9 Association) and the sponsor '協賛/宮城県内九条の会連絡会' (Sponsored by Miyagi Article 9 Association Liaison Committee). A QR code is in the bottom right corner.

- 小牛田：11月19日（土）13：00～13：30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：11月19日（土）11：00～11：30 場所：クボ店前
- 名取市：11月19日（土）13：00～ 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：11月19日（土）15：00～15：30 場所：岩沼駅前

11月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・なお、11月3日は「憲法9条を守り生かすみやぎのつどい2022」が同時時間帯にありますので、地域によっては中止になっている場合がありますので、ご確認ください。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・涌谷町：涌谷公民館前交差点 ・宮城野区：坂下交差点 ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

加美九条の会 11月の「9の日行動」

・「9の日行動」は憲法九条の改憲を許さないと市民に訴える活動で「加美九条の会」も継続している活動です。9日、19日、29日のいずれかの日を選んで毎月継続して実施しています。

時間：11月9日（水）7時30分～ 場所：加美町中新田矢越交差点

【これからの県内催事情報】

上映会のご案内

「われ弱ければ-矢嶋楫子伝」

「使命とは命を使うことです。自分の命は自分で使うのです。」明治・大正という、女性が一人の人間として尊重されることのなかった時代に、女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に生涯をささげた矢嶋楫子。その素晴らしい生き方が、一人でも多くの人の力になればと願いつつ製作しました。

日時：11月4日(日)①18:30 11月5日(土)②10:30 ③14:00

会場：仙台市福祉プラザふれあい大ホール(022-213-6237)

仙台市青葉区五橋2丁目12-2(地下鉄南北線五橋駅下車、南1番出口から徒歩3分)

入場：前売券・一般：1200円、当日券：1500円、*製作協力券でも入場可。

お問い合わせ：ボランティアサークル こだま会 022-376-2975 090-2889-7474

現代ぷろだくしょん 03-5332-3991(平日10:00~18:00)

COP27に呼応する学習講演会

岸田政権の原発推進を斬る！

気候危機の打開へ原発・石炭火力の廃止を。岸田政権の原発推進策は事故のリスクを拡大し、国民に新たな負担を押し付け、核のゴミによる半永久的な環境破壊を拡大するものです。電力のひっ迫は原発では解決しない。政府と宮城県は、原発と石炭火力発電の廃止をし、温暖化ガス削減目標の引き上げを！気候危機打開のカギは省エネと再エネの開発・普及です。

日時：11月12日(土)13:30~16:00

会場：エルパーク仙台 ギャラリーホール

■Zoomでも参加可能です

<https://us02web.zoom.us/j/82313812311?pwd=VTFLUEJrOEVOT0JoVkNNMnZWnkthUT09>

ミーティングID: 823 1381 2311 パスコード: 826108

講演：岩井 孝さん(元日本原子力研究開発機構研究員)

演題：「原発の再稼働・革新炉開発を斬る 廃炉・使用済燃料はどうする？」

主催：原発問題住民運動宮城県連絡センター

後援：女川原発の再稼働を許さない！みやぎアクション

連絡先：宮城民医連 022-265-2601

男女共同参画推進せんだいフォーラム 2022 講演・シンポジウム

誰もがいきいきと生きる社会のために-女性議員を増やし、社会を変えよう-

誰もがいきいきと生きる社会にするためには、政治を変える、つまり、政策の優先順位を変える必要があります。それには多様な立場から政治に参加することが必須です。今、女性議員の割合は衆議院では9.9%、参議院では25.8%、宮城県議会では12.3%。日本は世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数は146ヶ国中116位。これらを変えるために必要なことは何か。ともに考えます。

日時：11月19日(土)14:00~16:00

会場：エルパーク仙台5F セミナーホール (141ビル 仙台三越定禅寺通り館5F)

参加費：500円。男女を問わずどなたでもご参加ください。(定員100名)

Part1：講演「ジェンダー平等と平和」

講師 菱山南帆子さん(許すな!憲法改悪市民連絡会事務局長、そうがかり行動実行委員会・市民連合各運営委員)

Part2：シンポジウム「小さな気づきから私を変える 社会を変える 政治を変える」

出演：菱山南帆子さん、ひぐちのりこさん(仙台市議会議員)、秋山恵子さん(女性学を学ぶ・仙台 「女の平和」ピースアクションみやぎ)、遠藤恵子さん(東北学院大学名誉教授「女の平和」ピースアクションみやぎ)

コーディネーター 須藤道子(「女の平和」ピースアクションみやぎ)

運営・企画：「女の平和」ピースアクションみやぎ・宮城女性九条の会

連絡先：090-5832-6836 aki3002@coral.ocn.ne.jp

アンコール上映会のご案内

「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯ー」

権力に抗して声をあげた乙女がいたー戦争とむ権利の時代、反戦と主権在民を掲げ闘いに斃れた若き女性の真実の物語。

上映会場・上映日時一覧

上映日	会場	上映開始時間
11月 5日(土)	大河原町・オーガ	① 10:30 ②14:00
11月 6日(日)	名取市・増田公民館	① 14:00
12月 2日(金)	エルパーク6Fスタジオホール	① 10:30 ②14:00

入場料：入場整理券 1100円 わかもの券 500円(全会場共通券)当日券もあります。

〈今まで全県で使われた「制作協力券」、「入場整理券」は、全会場で有効です〉

主催：劇映画「伊藤千代子の生涯」宮城県上映実行委員会(連絡窓口 090-4312-1418)

連絡先：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟宮城県本部

仙台市青葉区五橋1-5-13 県労連会館3F(022-222-6458)

【県内九条の会の活動】

南小泉・蒲町校区9条の会発足7周年記念

「麦わら帽子の会」による朗読構成「あの日を語りつぐ—1945年ヒロシマ・ナガサキ そして2011年フクシマ—」

南小泉・蒲町校区9条の会は9月10日(土)に若林区文化センター展示ホールで発足7周年記念「麦わら帽子の会」による朗読構成「あの日を語りつぐ—1945年ヒロシマ・ナガサキ そして2011年フクシマ—」を開きました。麦わら帽子の会10名による朗読劇に参加者の皆さんは二度と戦争をしてはいけない、憲法9条を守るという決意を固めました。参加者は38名、カンパ15,500円が寄せられました。

多賀城懇話会

深谷市長は「国葬」に参列をすべきではない！

多賀城9条の会も参加している多賀城懇話会は、9月20日午前9時、多賀城市役所を訪問、市民連合@多賀城、多賀城9条の会、新日本婦人の会多賀城支部、年金者組合多賀城支部、塩釜地方労連の6団体連名の要請を深谷市長、麻生川教育長に対して行いました。

当日は、市議会開催中でもあり、最初に市教委を訪問。麻生川敦教育長に対し「安倍元首相の『国葬』に際して「小・中学校への弔意の強要を求めない」ことの要請書を提出し、阿部長喜懇話会代表世話人会・代表より趣旨を説明しました。



対応にあたった中野市教委次長は、

「現在のところ市教委としては、市内の小・中学校への弔意の要請など『国葬』に関する通知等を行っていない。これからも要請などを行うことは考えていない。」と答えました。

次いで、秘書課を訪問、深谷晃祐市長に対し「安倍元首相の『国葬』参列等に関する要請」を行いました。この場でも、「国葬は、根拠法がないこと、葬儀費用の国費負担は、憲法に反すること、安倍元首相への評価が定まっていないこと、国民の過半数が『反対』としていること」などを説明、「多くの市民が反対している国葬に対し、市民を代表する市長が参列するべきでないこと」、同時に、市職員への弔意の強要となりかねない市役所等への半旗掲揚を行わないよう合わせて申し入れました。

対応した秘書課長は、「皆さんの要請については市長に伝えます」と答えています。

なお、この日の行動には、阿部代表世話人会・代表、鈴木事務局長、龍淵新婦人の会支部長、藤原代表世話人が参加しました。（多賀城懇話会ニュース N0140 より）

鶴ヶ谷地域九条の会憲法 café 講演

「憲法9条は日本の宝、自民党の改憲案を斬る！」

鶴ヶ谷地域九条の会では弁護士でみやぎ憲法九条の会世話人でもある宇部雄介さんを迎えて10月30日に憲法caféを開催しました。鶴ヶ谷地域の賛同会員の皆さん26人と鶴ヶ谷地域以外の宮城野区の方も数人参加して30名の講演会となりました。

講演は「参議院選挙後」の改憲情勢から説き起こして、ロシアのウクライナ侵攻を契機として「敵基地攻撃」のできる装備強化やスタンドオフ装備の強化などによって「抑止力が必要」との論議が強まっていることなどに触れて、「武力に武力」で対抗すること日本に戦争を呼び込むことになり、憲法9条を持つ日本の選択肢ではないと強調しました。



安保理でのロシアなどの拒否権によって国連が機能していないとの意見もあるが、国連憲章に対してロシアも「守っている」との言い訳を繰り返しており国際関係の判断の基準を示していると強調した。ロシアのウクライナ侵攻が国連憲章などの国際法違反であること、そのことによって国際世論から批判を受け、行動が縛られていることについて具体的に話されました。その上で、憲法9条は国連憲章の理念の実現で最も先進を行くものであり、これを生かした「平和外交」こそが日本が戦争に巻き込まれないもっとも現実的な道だと強調しました。（鶴ヶ谷地域九条の会事務局）

九条の会ブックレット

「新たな改憲の危機と九条の会運動の意義」のご案内

参院選後の新しい状況に合わせた九条の会ブックレット「新たな改憲の危機と九条の会運動の意義」を発行しました。みやぎ憲法9条の会では早速取り寄せ、会員の皆さんに普及をしています。ご希望の会員の皆さんは事務局（みやぎ憲法九条の会（仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F）にお出でになり、お求めください。価格は500円です。

